1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W Sherman
1/35 アメリカ中戦車M4A3(76)Wシャーマン

ASUKA MODEL

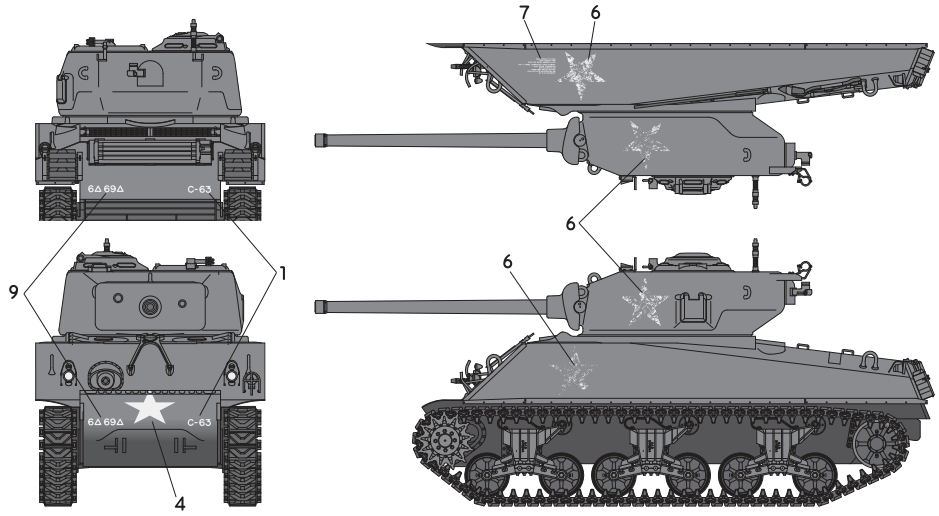
35-019　塗装説明書

組み立てを始める前にお読みください。 Read before construction

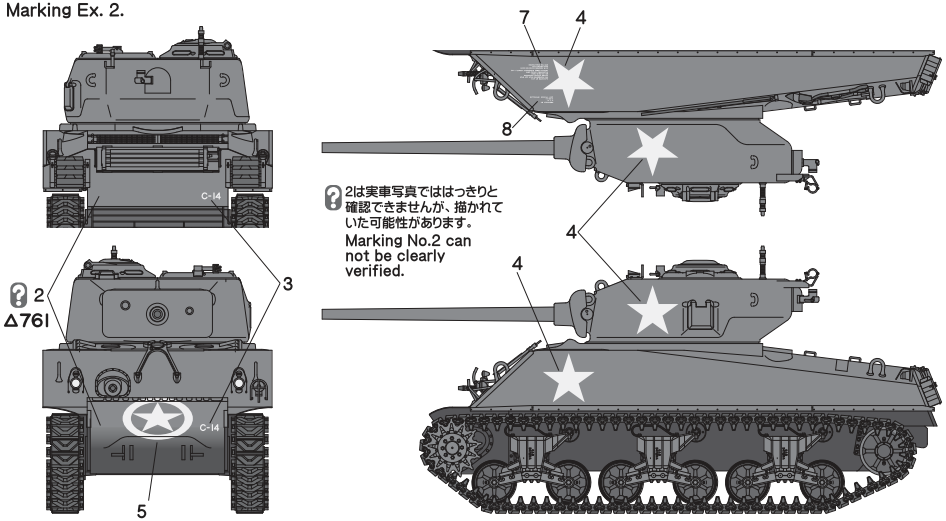
この説明書は35-019 1/35 アメリカ中戦車M4A3 (76)Wシャーマンの追加説明書です。組み立てに関しては、別紙の アメリカ中戦車M4A3 (76)Wシャーマンの組み立て説明書とあわせてご覧頂く必要があります。あらかじめそれぞれの説明書に目を通し、全体の流れを把握してから組み立てに入ってください。

This instruction manual is for the 35-019 1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W Sherman.
It is an additional instruction manual for the 1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W Sherman.
In regards to assembly, please read this annex carefully and adjust the instruction manual accordingly.

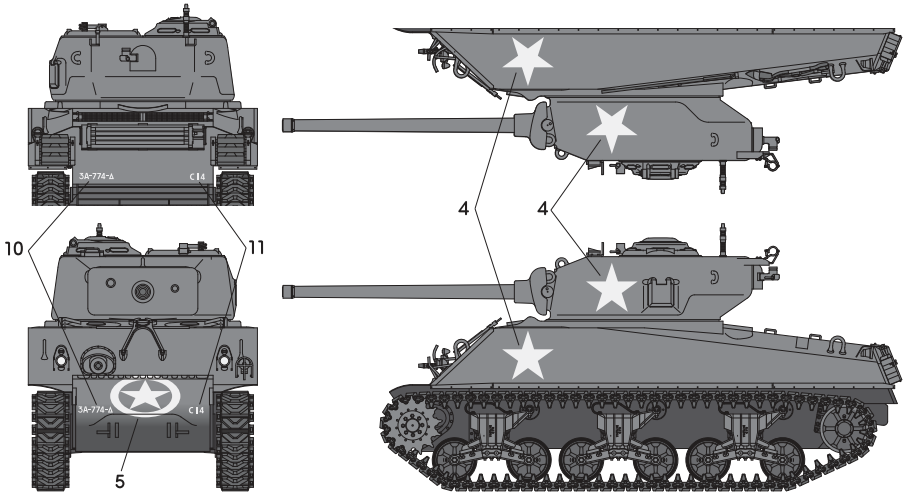
塗装例 1
第6機甲師団 第69戦車大隊C中隊 1944-45年　フランス→ドイツ
C Company, 69th Tank Battalion, 6th Armored Division. 1944-45.
Marking Ex. 1.



塗装例 2
第761戦車大隊 C中隊 1944年11月　フランス・ナンシー
C Company, 761st Tank Battalion. Nancy France, November 1944.
Marking Ex. 2.



塗装例 3
第3機甲師団 第774戦車大隊C中隊 1945年2月 ベルギー・ボヴィニー
C Company, 774th Tank Battalion, 3rd Armored Division. Bovigny Belgium January 1945.
Marking Ex. 3.



塗装とマーキング　CAMOUFLAGE & MARKING

■M4A3(76)Wの塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輌の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。ノルマンディ上陸作戦以降の北西ヨーロッパでも基本色はオリーブドラブでしたが、車輌によっては黒または暗い茶色の幅広の迷彩が施されたケースがありました。車輌の前面と側面、上面には国籍マークの白い星が描かれる規定になっていましたが、白い星は前線では非常に目立つため、黒かオリーブドラブで上塗りしたり、剥がしてしまう場合がありました。また車体側面にはU.S.A.で始まる車輌登録ナンバーが書かれていましたが、大戦後半の車輌では消されていたものも多かったようです。また冬季の場合は白い水性塗料による冬季迷彩が施されました。

カラーナンバー対応表　※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR		GSI クレオス・Mr.カラー GSI Creos・Mr.COLOR	
X-7	レッド	3	レッド
X-10	ガンメタル	28	黒鉄色
X-11	クロームシルバー	8	シルバー
X-12	ゴールドリーフ	9	ゴールド
XF-1	フラットブラック	33	つや消しブラック
XF-6	コッパー	10	カッパー
XF-10	フラットブラウン	131	赤褐色
XF-56	メタリックグレイ	28+30	(黒鉄色+フラットベース)
XF-62	オリーブドラブ	38	オリーブドラブ2

《不要部品》Not used.

A部品　3,4,7,11,12
B部品　10,11,12,13
C部品　18,19,28,30,31,39,42,49,59
D部品　8,13
G部品　4-13,15,16
J部品　3,6,7,8,15
P部品 (ポリキャップ poly cap)　1
Z部品　22-29
エッチング(PE)　6

■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを切り取ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつすらしながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

DECAL APPLICATION

① Cut off decal from sheet.
② Dip the decal in tepid water for about 10sec.
③ Place on a clean cloth.
④ Hold the backing sheet edge and slide decal on to the model.
⑤ Move decal into position by wetting decal with finger.
⑥ Press decal down gently with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.
⑦ Until decal dries try not to touch.
⑧ It is convenient to use the hot towel and the decal softener to make them fit surfaces of parts.

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。
お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称（番号）、数量を明記の上、メールまたはFAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。右記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / FAX での受付
〈Mail〉info@asukamodel.com
FAX. 054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先
〒422-8027 静岡市駿河区豊田 3-5-30
有限会社 アスカモデル 部品請求係

ASUKA MODEL
有限会社アスカモデル
asukamodel.com

1/35 U.S. Medium Tank

M4A3(76)W Sherman

35-019 組立説明書

ASUKA MODEL

1/35 アメリカ中戦車 M4A3(76)W シャーマン

M4A3 (76)Wシャーマンについて

M4シャーマンは1942年の出現当時にはドイツの4号戦車とほぼ互角の性能を有し、機械的信頼性の高さと量産向きのシンプルな構造で大量生産され、大戦中期には連合軍の標準戦車としての役目を担っていました。シンプルな車体は内部容積の拡大などには貢献しましたが、反面で被弾時の弾薬の誘爆などによる破壊も頻発し、車体の改修も課題となりました。そこで防御上の問題点とされたドライバーズフードの出っ張りを無くして前面装甲を一枚板として再設計し、弾薬箱の周囲を水で囲うことによって被弾時の誘爆を防ぐ処置が施されました。この湿式弾庫をを有する新車体のM4シャーマンには形式名の後に「W」を冠して旧型車体と区別されました。一方でドイツ軍がパンターやティーガーなどの新鋭戦車を戦線に投入すると、従来の75mm砲の劣勢は明らかとなり、対戦車戦闘力を向上させた高初速の戦車砲の搭載が計画されました。こうして開発された76mm砲は後座量の増大に伴って完全に新設計された砲塔に搭載されることになったのです。

またフォード製ガソリンエンジンを搭載するM4A3はガソリンエンジン搭載車としては最も優れているとの評価を得、アメリカ軍向けの主力として量産されました。このような経緯もあり、76mm砲型の量産はM4A1とM4A2 (ソ連向け) 、M4A3に絞られることになりました。こうして76mm砲型のシャーマンはまずM4A1の後期車体に搭載され、続いてM4A3の後期車体にも搭載されて量産が開始されたのです。M4A3(76)Wの量産は1944年3月から開始されましたが、75mm砲型よりも榴弾の炸薬量が少ない76mm砲型は当初は前線で敬遠され、1944年9月にようやく実戦に投入されました。パンターやティーガーに対抗する本格的な新型戦車としてM26パーシングの開発が行なわれていましたが、配備まではまだ時間がかかり、76mm砲型のシャーマンは強力なドイツ戦車に対抗するには必要不可欠の装備だったのです。最終的にM4A3 (76) Wは76mm砲型のシャーマンとしては最も多い4542輌が生産され、連合軍の勝利に貢献したのです。

組み立てを始める前にお読みください

この説明書は1/35 M4A3 (76)W シャーマン 35-019 の組み立て説明書です。塗装とマーキングは別紙の塗装説明書に指示してあります。組み立てを始める前に両方に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。

- このキットは3種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意下さい。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

READ BEFORE BULD

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

・パッケージ原画：島村英二 氏
・イラスト：モリナガ・ヨウ 氏

Mark guide ☒ Do not cement and attn moving. ❗ Pay attention. ❓ Choose type of vehicle.

1 キャタピラの組立 Track assembly

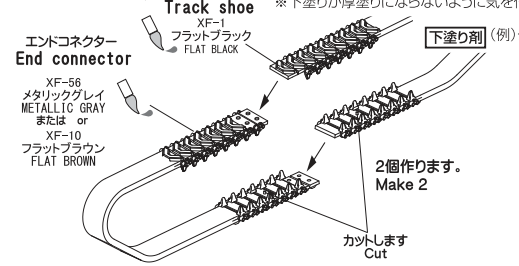
- キャタピラの組み立てには瞬間接着剤をご使用ください。
- 塗装後に強くこすって塗料が取れてしまうのを防ぐために塗装前の下塗りをおすすめします。
※下塗りが厚塗りにならないように気を付けてください。

- For track assembly and paint
- For track assembly, please use cyanoacrylate adhesive. ※Using undercoat to keep paints.

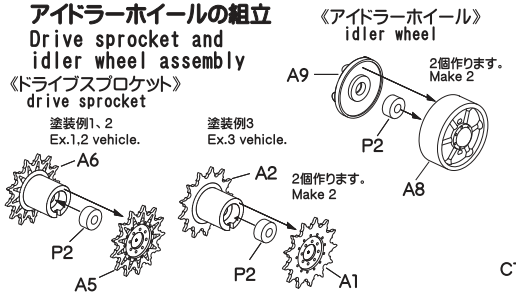
Undercoat TAMIYA Surface Primer primer Gaianotes primer series

下塗り剤 (例)タミヤ スーパーサーフェイサーガイアノーツガイアマルチプライマーなど
※各種下塗り剤の取り扱いは製品の注意書きをよく読んでご使用ください。

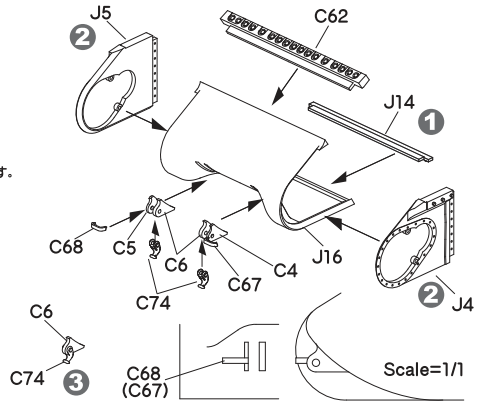
XF-62 オリーブドラブ OLIVE DRAB
組立図中で特に指示のないところは全て基本色 (オリーブドラブ) です。
Where color is not specified please use OLIVE DRAB.



2 ドライブスプロケットとアイドラーホイールの組立 Drive sprocket and idler wheel assembly



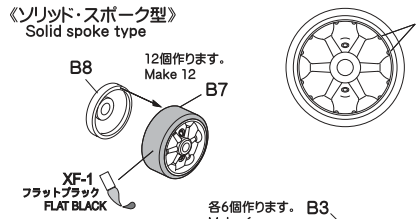
3 デファレンシャルカバーの組立 1 piece type differential cover assembly below



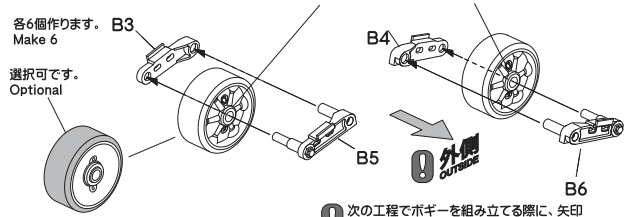
4 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly

部品B7にはランナー上に彫刻されている半球を使ってリベットを追加できます。
Rivets on B sprue are added to the rim of B7.

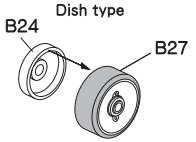
《ソリッド・スポーク型》 Solid spoke type



❗ ホイールに接着剤が着かないように注意します。
Part B5 and B6 must only be glued to part B3 and B4.



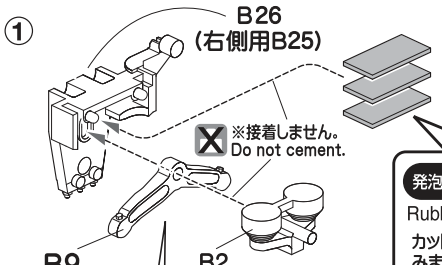
《ディッシュ型》 Dish type



❗ 次の工程でボギーを組み立てる際に、矢印で示した側が外側になるように注意します。
During bogie assembly, please note outside direction

5 ボギーの組立 Suspension assembly

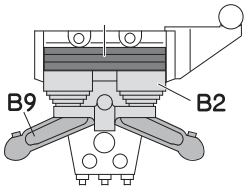
左右各3個作ります。サスペンションアームを組み込むまでは 間を開けず一度の工程で組み立てます。図は左側用を示しています。
Make 3 for each side. Following illustration shows the left side.



スペーサーA サスペンションの高さを固定したい場合はスペーサーパーツAを選びます。
A
If you want to fix the height of the suspension, choose the A Spacers

発泡ゴムシート Rubber sheet 発泡ゴムのシートを約4.5ミリX11ミリの大きさにカットします。下の図を参考にカットしてください。
原寸 Cut rubber sheet. 4.5mm X 11mm

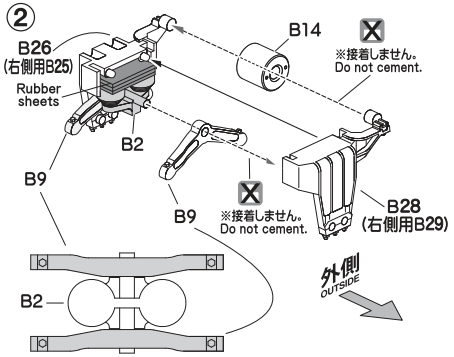
カットした発泡ゴムのシートをサスペンションの間にピンセットなどで押し込みます。3枚が標準ですが、情景などで台に固定する場合などは、前後のサスペンションを4枚にするなどしてテンションを調節します。
The foam rubber is pushed in between the bogie and suspension spring as shown in diagram. Adjust tension to taste

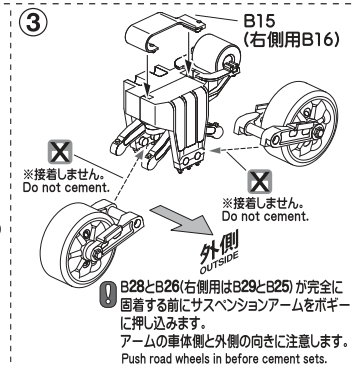


サスペンションの沈み込みの再現の必要ない場合、発泡ゴムシートを組み込まず、B2を一番下まで下げた状態 (標準位置) で接着し、高さを固定する方法もあります。お客様の使用状況に応じて選択してください。
To fix the suspension, do not install foam rubber sheets and glue B2 into lowest position.

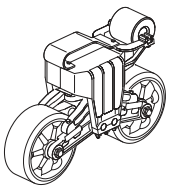
B2とB9はスムーズに動くように接着しません。B9は向きに注意して取り付けます。

Do not glue B2 to B9. Pay attention to direction, when you install B9.





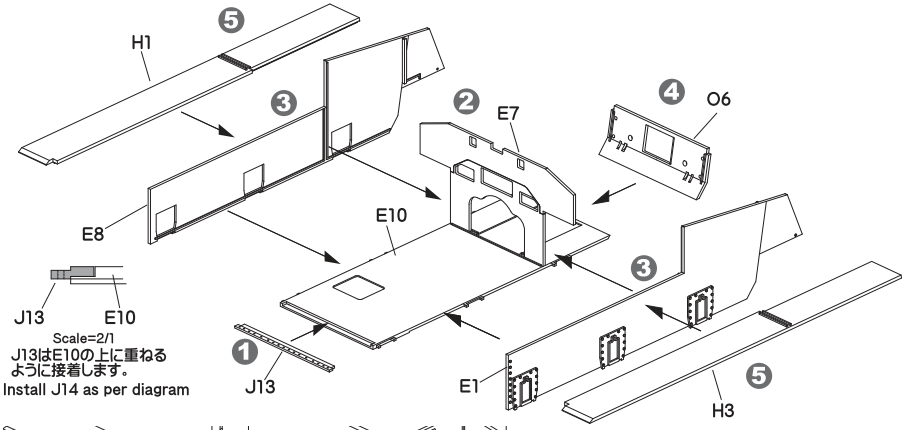
❗ B28とB26(右側用はB29とB25) が完全に固着する前にサスペンションアームをボギーに押し込みます。
アームの車体側と外側の向きに注意します。
Push road wheels in before cement sets.

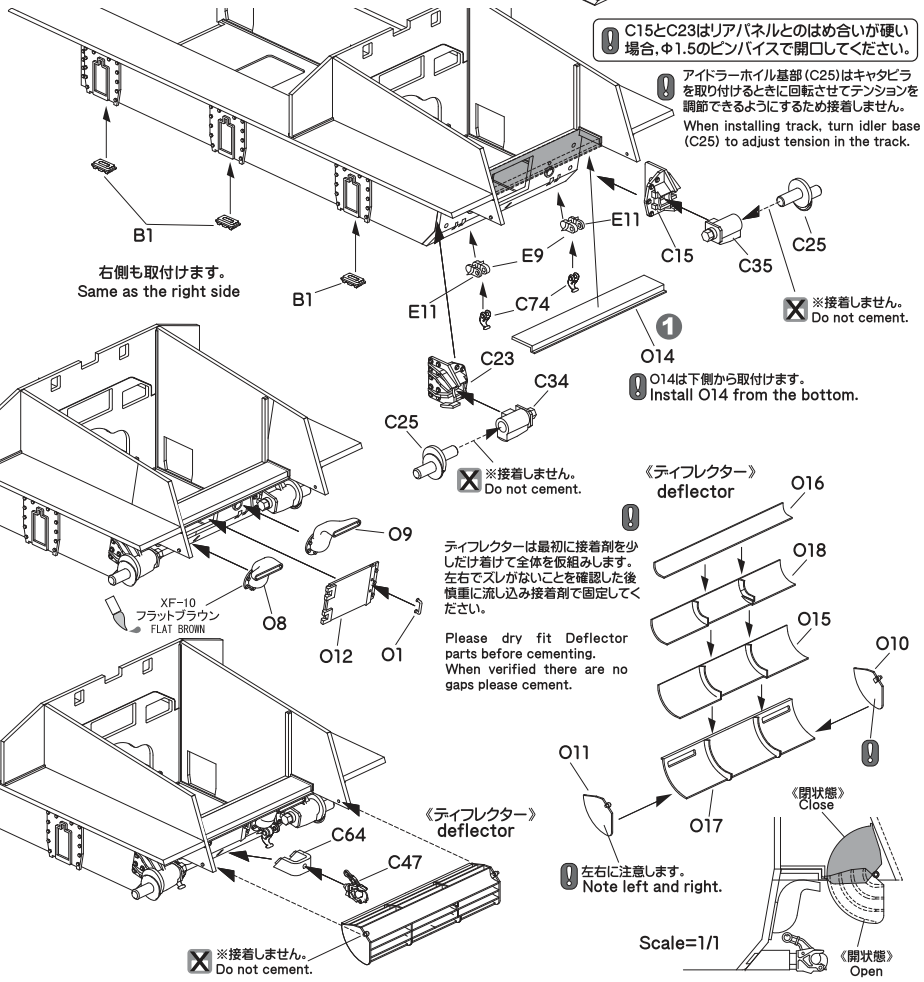


❗ 接着が乾くまで動かさないようにします。
Until glue dries, try not to move.

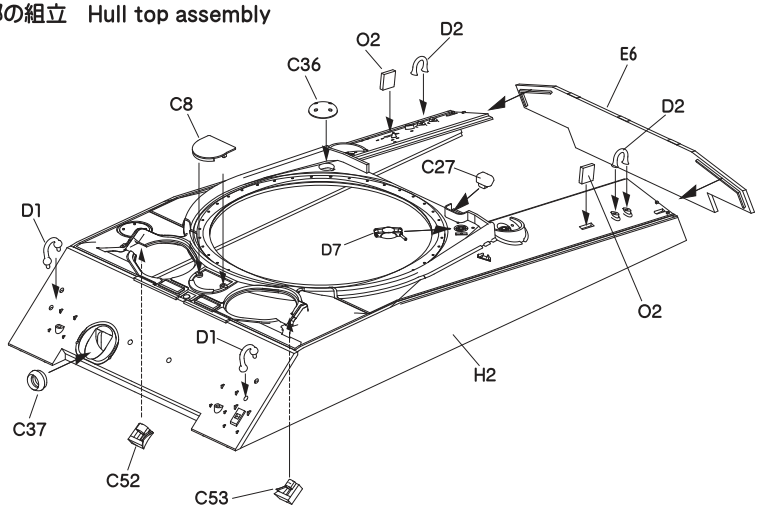
6 車体下部の組立
Hull lower assembly

①から⑤の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。
部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。
この工程は中断せずに一度に組み立てて下さい。
Assemble steps ① to ⑤ in sequence.This assembly should be performed without interruption.



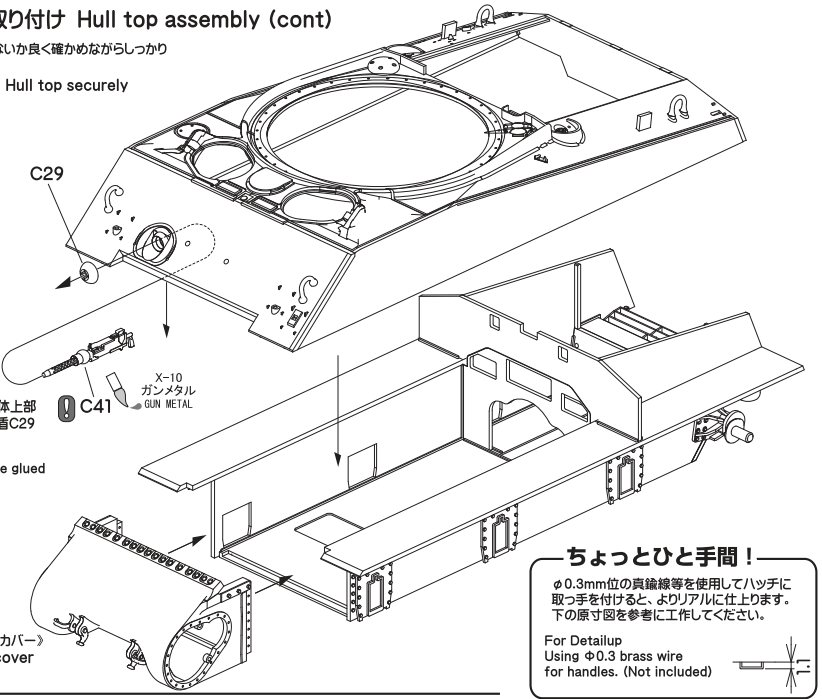


7 車体上部の組立 Hull top assembly



8 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり接着してください。
Take care gluing Hull top securely



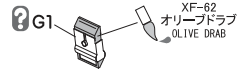
ちょっとひと手間！

φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取っ手を付けると、よりリアルに仕上ります。下の原寸図を参考に工作してください。

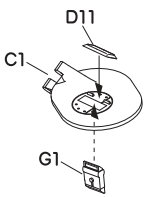
For Detailup
Using Φ0.3 brass wire
for handles. (Not included)

9 ドライバーズハッチの組立
Drivers hatch assembly
Hatch reverse side assembly

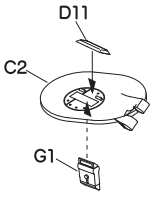
ペリスコープ(G1)は透明か色付きの部品を選びます。
The periscope (G1) is a clear part. Paint as per the color annex

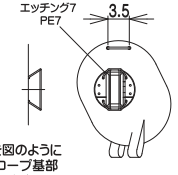


《右 Right》



《左 Left》





エッチング7を図のように曲げてペリスコープ基部の上に取り付けます。
PE7 is bent as per drawing.

Scale=1/1

10 車体上部部品の取り付け
Hull upper part installation

❶～❸の順に取り付けます。
Accembly steps ❶ to ❸

《フロントフェンダー》Front fender
《フェンダー右》Right Fender
《フェンダー左》Left Fender
C51 C50 J2 J1
《フロントフェンダー側面図》
Note: J1, J2 position
J1、J2

《ヘッドライト》Headlight
D12 G14
2個作ります。Make 2
X-11 クロームシルバー SILVER

《ホーン》Horn
C10 C9

《ホーンガード》Horn Guard
ホーンガードはエッチング3,4,8を組立てたものを使用することもできます。
Construct PE 3,4, and 8 in order to make Horn Guard
❶～❸の順に取り付けます。
Accembly steps ❶ to ❸
C7 or PE3,4,8
エッチング4 PE4
エッチング8 PE8
エッチング3 PE3
エッチング4 PE4

《ライトガード》
PE2は下図を参考に曲げて使用します。
PE2 is bent as per drawing.
D5
D9 or PE2 D5
Scale=1/1

C57 C58 C56 C38
ヘッドライト
フロントフェンダー右
ライトガード
ホーンガード
ホーン
フロントフェンダー左

11 エンジンデッキの取り付け
Engine deck Installation

エンジンデッキ後部は初期型か後期型を選びます。
Select either Early or Late type engine deck.
O5 O1 O13 《初期型》Early Type
O7 《後期型》Late Type O1 C16 O1 C24
C32
D3orPE5
O13
裏側から0.5mmのドリルで開口します。
Make hole with drill. φ0.5mm
C33
D3orPE5
PE5は下図を参考に曲げて使用します。
PE5 is bent as per drawing.
Scale=1/1
O1 O3 O4
X-7 レッド RED
《L》 《R》
左側(C33)のみ
C33 C32
テールライト(C32・C33)は左右に注意します。
Pay attention to distinguish left part (C33) from right part (C32).
O1 O3
E5
C66 C65
E3
E3、E5は取付け自由です。
E3, E5 are optional.
Scale=1/1

12 車体右側部品の取り付け
Hull right side installation

D4 D7 C22 C26 C17 C21 C20

《OVM(車外装備品)の塗装について》
アメリカ軍の軍用車輌の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色がはげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずにリアルになるでしょう。

Hull Accessories Painting Guide
American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

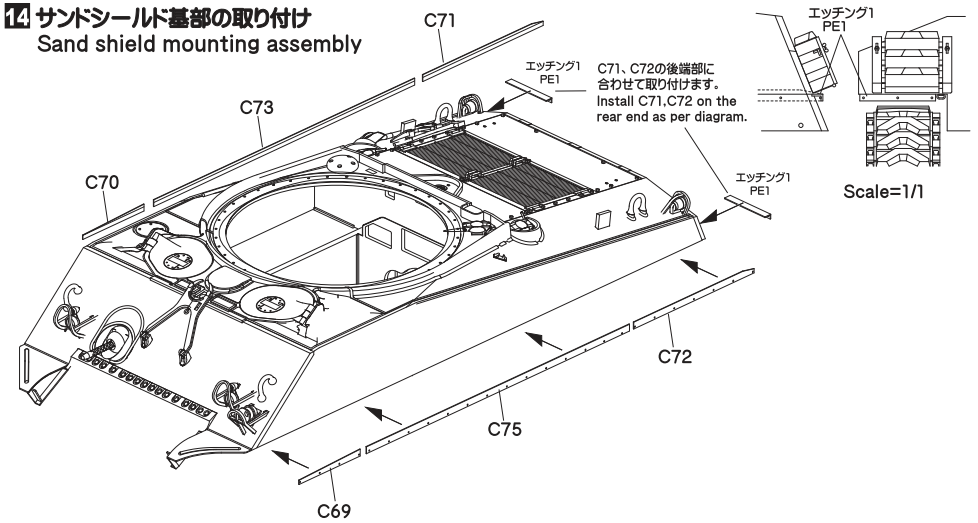
Scale=1/1

13 キャタピラの取り付け VVSS Suspension
車体にファイナルドライブ(A10)とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。
ドライブスプロケットとアイドラーホイルにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差し込みます。アイドラーホイルの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。
右側も同様に取り付けます。

《Assemble steps ① to ③》
①Install A10 and Suspensions. Allow cement to dry.
②Track wrap around drive sprocket and idler wheel.
③Drive sprocket and idler wheel are installed to hull with track. Turn idler base (C25) to adjust tension in the track.

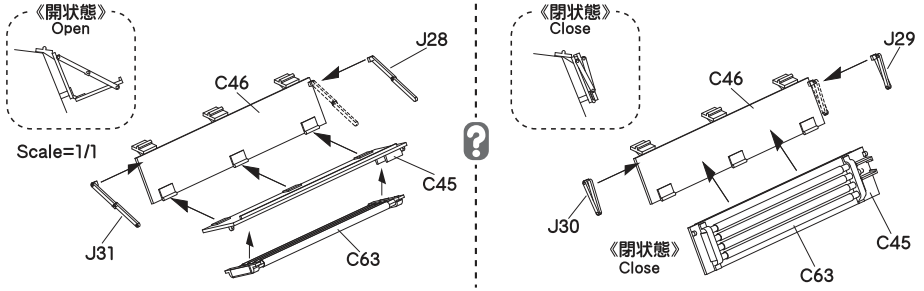
※接着しません。Do not cement.
《アイドラーホイール》idler wheel
A10
《サスペンション》VVSS Suspension
Drive sprocket
《ドライブスプロケット》
※接着しません。Do not cement.
《キャタピラ》Track
進行方向に注意します。
Note direction of track.

14 サンドシールド基部の取り付け
Sand shield mounting assembly



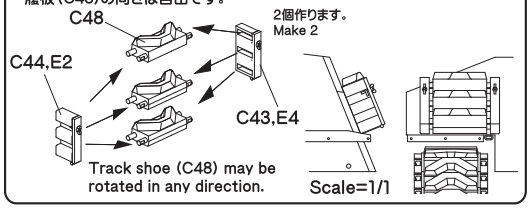
15 リヤパネル部品の取り付け Rear panel attachments.

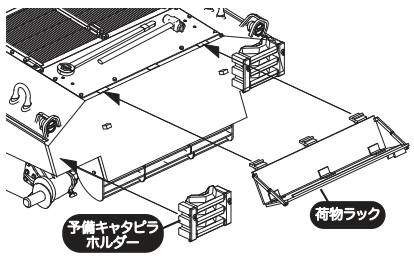
《荷物ラック》 荷物ラックは開状態か閉状態を選んで組立てます。各部品の位置を仮組みでよく確認してください。
Stowage rack Stowage rack can be assembled in a closed or open state. Please trial fit each part.



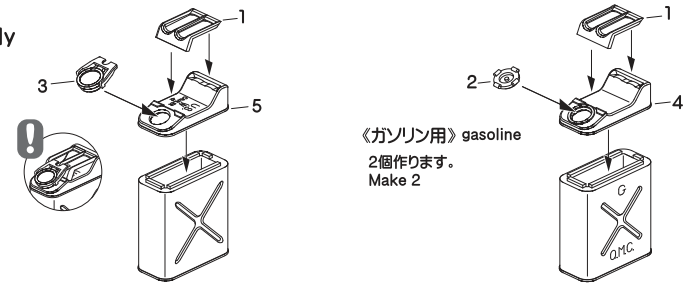
《予備キャタピラホルダー》Spare track holder

履板(C48)の向きは自由です。

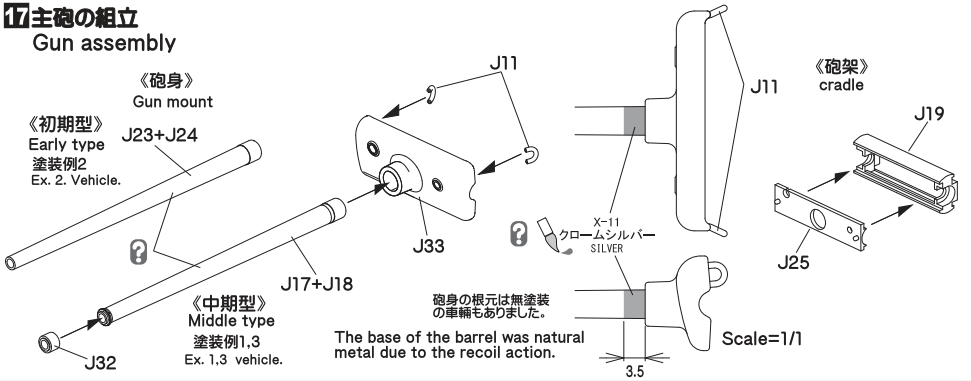




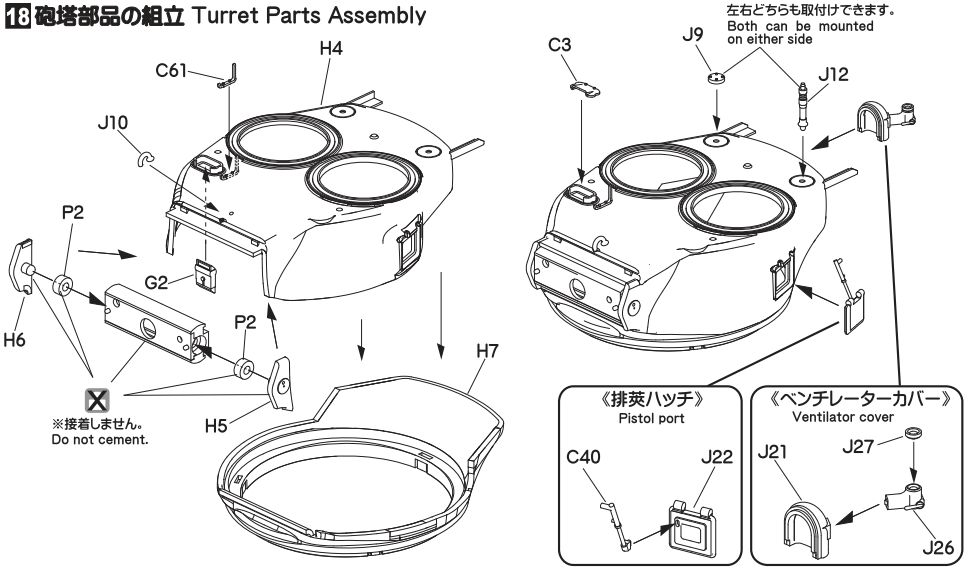
16 ジェリカンの製作
Jerry can assembly



17 主砲の組立
Gun assembly

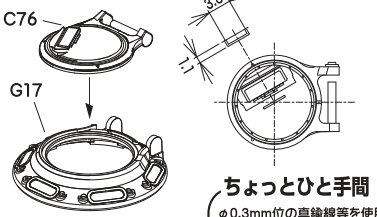


18 砲塔部品の組立 Turret Parts Assembly

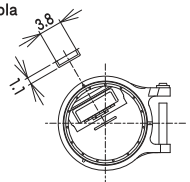


19 キューポラの組立
Cupola Assembly

《車長用キューポラ》
Commander's cupola



表側はビジョンブロックの部分を塗り残して車体色で塗装します。そのままでは砲塔との合わせ部分が見えてしまうので、裏側はグレーなどで塗装するとよいでしょう。
Paint the cupola body color except for the vision blocks. Paint the inside sides of the vision blocks grey but not the actual vision block which remains clear.

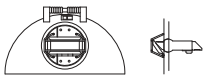


ちょっとひと手間！

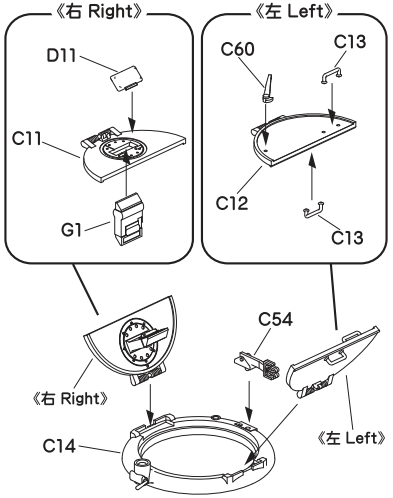
φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取っ手を付けると、よりリアルに仕上ります。上の原寸図を参考に工作してください。
For Detailup
Using Φ0.3 brass wire
for handles. (Not included)

《装填手用キューポラ》
Loader's cupola

エッチング7を図のように曲げてペリスコープ基部の上に取り付けます。
PE7 is bent as per drawing



エッチング7
PE7
Scale=1/1

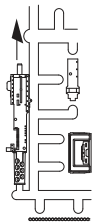


20 M2重機関銃の組立
M2 Machine Gun Assembly

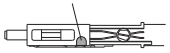
このページではキューポラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。
This page instruction assembles cupola M2 machine gun.

A 機銃本体の組立
Machine gun assembly

ランナーから機銃本体を引き抜きます。
Pull the machine gun itself from the runner.



ゲートの跡を整形します。
Gate mark fairing stripe

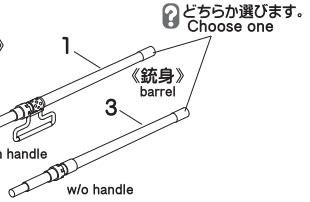


どちらか選びます。 Choose one

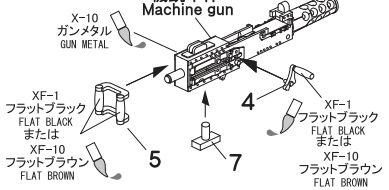
《閉状態》 Closed
《開状態》 Open

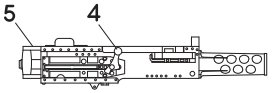
どちらか選びます。 Choose one

《銃身》 barrel
with handle
w/o handle



機銃本体 Machine gun

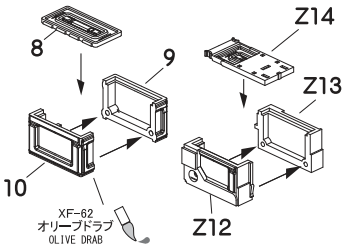




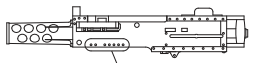
取付位置詳細図
Installation position detail

B 弾薬箱の組立
Ammunition box assembly

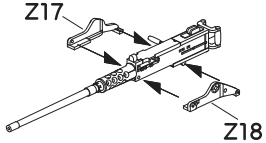
《100発用弾薬箱》 100 round ammo box
《弾薬箱B》 ammo box B



C 揺架の取付
Cradle installation.

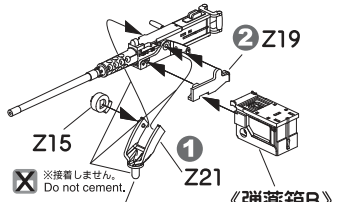


揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



D 揺架の組立 Cradle assembly

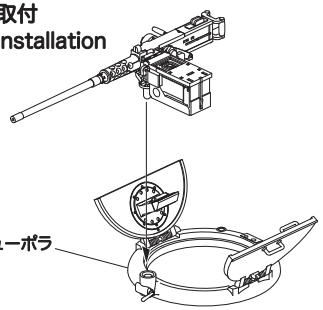
Z19を取り付ける前にZ21を取付けます。
Install Z19 before installing Z21.



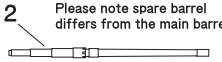
《弾薬箱B》 ammo box B

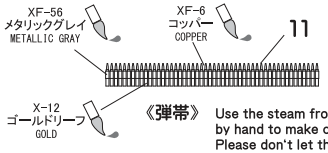
Z21の軸が緩い場合はペンチ等で軽く潰して固さを調整します。
If Z21 axis is loose adjust the stiffness by crushing lightly with pliers

E キューポラへの取付
Machine gun installation



《予備銃身》 Spare barrel
本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。
Please note spare barrel differs from the main barrel

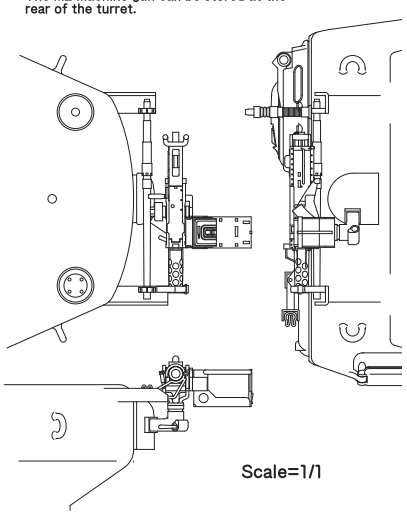




弾帯はお湯に漬けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。
《弾帯》 Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

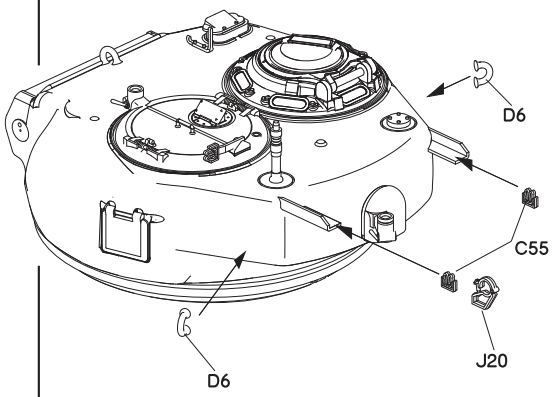
《参考》 Reference

機銃は僅かな工作で砲塔後部に収納することもできます。
The M2 Machine gun can be stored at the rear of the turret.

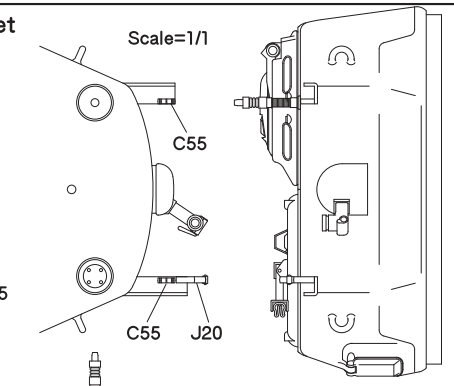


Scale=1/1

21 砲塔後部の組み立て Assembling the rear turret



Scale=1/1

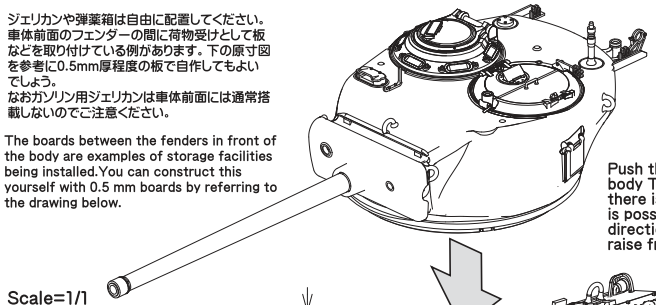


22 M4A3(76)Wの完成
M4A3(76)W Completion

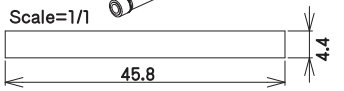
砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。
360度どの方向からも着脱が可能です。
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

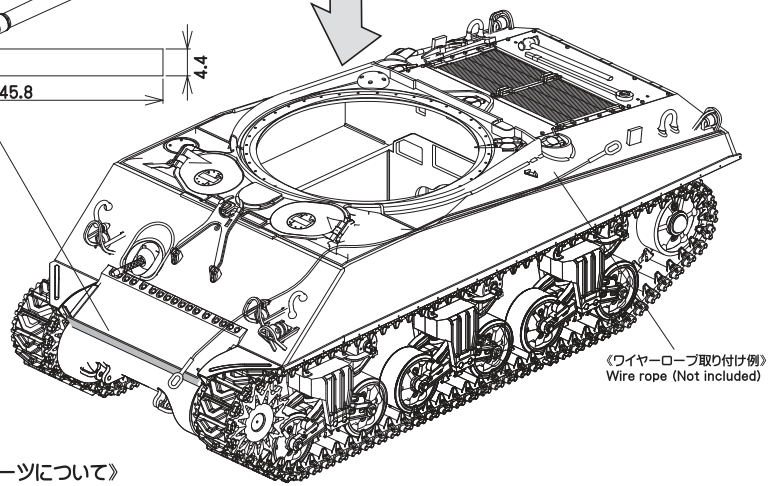
ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。
車体前面のフェンダーの間に荷物受けとして板などを取り付けている例があります。下の原寸図を参考に0.5mm厚程度の板で自作してもよいでしょう。
なおガソリン用ジェリカンは車体前面には通常搭載しないのでご注意ください。

The boards between the fenders in front of the body are examples of storage facilities being installed.You can construct this yourself with 0.5 mm boards by referring to the drawing below.



Scale=1/1





ワイヤーロープを取り付ける場合は、φ0.5ミリ程度の市販のナイロン紐やワイヤーを160ミリの長さに切り出し両端にD10を接着します。

Use either a 160 millimeter φ0.5 millimeter lenght of nylon string or wire.
Glue D10 to the both ends.

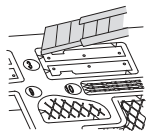
《ワイヤーロープ》 Tow cable
XF-56 メタリックグレイ METALLIC GRAY

Push the turret horizontally to the body The turret is pushed in until there is click. Installation and removal is possible from 360 degrees in every direction. When removing the turret, raise from the body carefully.

D10

160

《エッチングパーツについて》



- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ（繋ぎ目）の部分をヤスリなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。

有限会社アスカモデル
asukamodel.com
〒422-8027 静岡市駿河区豊田3-5-30
有限会社アスカモデル 部品請求係
E-mail info@asukamodel.com
FAX 054-203-2103

ASUKA MODEL